

## 記者発表資料

提供年月日:令和2年(2020年)1月14日

部局名:琵琶湖環境部

所属名:下水道課

係名:企画係

担当者名:松本、北川

内線:4213

電話:077-528-4213

E-mail:kitagawa-satoshi-a@pref.shiga.lg.jp

## ベトナムクアンニン省に琵琶湖モデルを展開！

滋賀県は2015年より国際協力機構(JICA)が実施する技術協力プロジェクト「クアンニン省ハロン湾地域のグリーン成長推進プロジェクト」に協力し、クアンニン省へ琵琶湖モデルの発信・展開を行ってきました。



世界遺産ハロン湾

プロジェクトは昨年11月に完了を迎え、滋賀県が行った協力によって、同地域のグリーン成長の推進に寄与する成果(※別紙参照)を得ることができました。これらの成果は、先方からも高く評価されているとともに、滋賀県の琵琶湖モデルに基づく協力の継続について強く求められているところです。

これらの経緯を踏まえ、滋賀県では今後もクアンニン省との協力関係を継続していくこととしています。また、今回のプロジェクトは琵琶湖モデルを海外に展開した初の事例とも言えるものであり、これを先駆けとして、今後他の地域においても琵琶湖モデルの展開を図っていきたいと考えております。



◆ (プロジェクト概要)

JICA技術協力プロジェクト 「ハロン湾地域におけるグリーン成長推進プロジェクト」	
期 間	2015. 10～2019. 11
発注者/受注者	国際協力機構(JICA)/日本工営、ILEC…他
支 援 者	滋賀県琵琶湖環境部 環境政策課、下水道課、 〃 商工観光労働部商工政策課 …他
目 標	ハロン湾地域におけるグリーン成長の推進

◆ 滋賀県の協力による主な成果

滋賀県が貢献したこと	具体的内容
ハロン湾研究センターの設立	科学的知見に基づく施策形成の重要性とともに、琵琶湖環境科学研究センターの役割や機能を紹介し、ハロン湾研究センターの設立・充実に貢献
グリーン成長白書の発行	滋賀県の環境白書の取組や内容を伝え、多様な主体とのコミュニケーションツールとなるグリーン成長白書の発行を支援
水環境分野の技術交流	技術セミナーなどを通して、滋賀県の関係企業が蓄積した環境に関する技術を紹介
人材育成	ワークショップなどを通して、滋賀県の琵琶湖モデルの考え方を紹介し、クアンニン省側の人材育成に貢献



ハロン湾研究センター



技術セミナーの開催  
(2019. 1クアンニン省にて)



琵琶湖モデルの紹介  
(2019. 11最終セミナーにて)

◆ (経緯)

◇ 2015.10 プロジェクトの開始

- ・ ベトナム北東部の世界自然遺産であるハロン湾は、近年水環境改善が緊要な課題となっていることから、クアンニン省はJICAあて技術協力プロジェクトを要望し、プロジェクトが始動。
- ・ 滋賀県は、琵琶湖の環境保全に取り組んできた経験（琵琶湖モデル）を有することから、閉鎖性水域であるハロン湾の環境改善に貢献できるとして、JICAより依頼を受け、本プロジェクトに協力することとなる。

◇ 以来、職員を現地に派遣し、滋賀県の取組の紹介や経験に基づく助言を行い、琵琶湖モデルを発信。プロジェクトの運営に関して、指導・助言を行ってきた。

(現地派遣への協力：7回、 訪日研修への協力：2回)



プロジェクト運営会議(2019.1)



本邦研修(2018.8)

◇ 2017.10

「環境と経済分野における相互協力に関する覚書」の締結。



覚書の締結（滋賀県にて）  
西嶋副知事とクアンニン省人民委員会ハウ副委員長

◇ 2019.11

プロジェクトの完了。最終セミナーの開催。



クアンニン省より記念品の贈呈



功労者への表彰